

# つくる・まもる・そだてる 淡路さわやか県土

発行：平成18年6月20日

**春号**  
SPRING  
VOL.4



**国土資産 4**

ゆらこうなるがしま  
**由良港と成ヶ島**

～瀬戸内が生んだ天然の防波堤～

**MAP 1**

この写真を見て「天橋立」と思われる方はいらっしゃるでしょうか。

ここは由良港の沖合いに浮かぶ瀬戸内海国立公園「成ヶ島」です。悠然と横たわるその美しい姿から「淡路橋立」と呼ばれ、淡路島の内外で広く人々に愛されています。

成ヶ島には、ハクセンシオマネキやハマボウといった珍しい動植物が数多く棲息しています。また、大阪湾で唯一、ウミガメの産卵地としても有名で、毎年6月頃に砂浜へ卵を産みにやってきます。

由良は古くから港を中心に淡路の玄関として栄え、軍事拠点としても機能していたこともありましたが、その証拠に、成山を始めとして生石、高崎などに砲台跡が残されており、かつての面影を残しています。

そして現在、由良港は成ヶ島という天然の防波堤に守られた良港として、県下有数の漁獲高を誇っています。

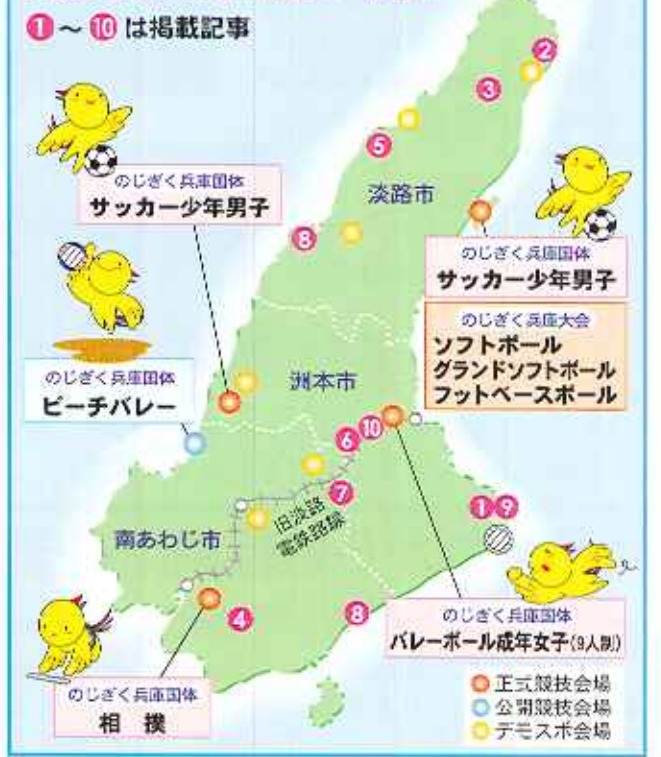
皆さんもぜひ一度、由良港と成ヶ島の空気にふれてみてはいかがでしょうか？

**ハマボウ**

成ヶ島の海岸植物の中でも、海水の入る沼地にも生える「ハマボウ」は、湿帯のマンローフと呼ばれる、成ヶ島を代表する植物です。7～8月に鮮やかな黄色の花をつけるこの花は、成ヶ島にのみ群生しており、兵庫県下ではレッドデータブックのAランクに指定される希少なものとなっています。また、漂着ゴミの絶えない成ヶ島では、平成元年から地元の「成ヶ島を美しくする会(代表 花野晃一氏)」が清掃ボランティアを続けており、貴重な海浜動植物を守っています。



**AWAJI ISLAND MAP**



葉・花・実・木姿が美しい

**“トベラ”**

“トベラ”の名は、鬼をよけるために節分にこの枝を扉(とびら)にさすことに由来する。“トビラノキ”の別名もある。

トベラは、関東から西の海岸に生える常緑の低木で、淡路島の代表的な木の一つである。潮風や乾燥、排気ガスに強く、また、剪定しても芽が出やすく、木の形がよい。葉も花も実も美しいこと



から公園や庭の木、並木や生垣などに利用されている。

※文・写真とも洲本の植物研究家南光重毅氏が提供

**花のはばたん特集**

**MAP 2 3 4**

いよいよ開催まで半年を切った「のじぎく兵庫国体」「のじぎく兵庫大会」のマスコット、「はばたん」が淡路島のさまざまなところに姿を見せています。

■夢舞台・あわじ花さじきに「はばたん」出現！

淡路夢舞台に花の「はばたん」が現れました。淡路花博記念事業協会が8480個の花のポットで作成した「はばたん」です。ゴールデンウィークの間、夢舞台を訪れる人々の目を楽しませていましたが、残念ながら5月7日に撤去されてしまいました。



また、あわじ花さじきにも花の「はばたん」が出現しています。こちらの「はばたん」はのじぎく兵庫大会終了まで咲いていますので、ぜひ一度訪れてみてください。

■南あわじ市にも「はばたん」が出現！

南あわじ市北阿万伊賀野の休耕田に見事な「はばたん」が出現しました。地元に住む藤井つた子さんが、「花」で描き出した「はばたん花壇」です。藤井さんは、以前から休耕田をキャンパスにして、種から育てた花でさまざまな絵を描いてこられました。今年は、「はばたん」をテーマに選び、約350㎡の花の「はばたん」を制作されました。なお、この「はばたん」も5月末で撤去されています。



▲夢舞台に咲いた「はばたん」(淡路花博記念事業協会提供)



▲南あわじ市北阿万伊賀野に咲いた「はばたん」

■今後の「はばたん」出現予定

さまざまな場所で咲いていた「花のはばたん」全部見つけれられた方はいらっしゃるでしょうか。なお、のじぎく兵庫国体が開催される9月30日には、淡路島の玄関口、淡路I.Cの入口に新たな花の「はばたん」が姿を見せます。また、南あわじ市の藤井つた子さんの「はばたん」もお盆のころには夏バージョンで復活する予定とのことです。



# 「ひと」と「いきもの」が安心して暮らせる川づくり

平成16年10月の台風23号から、1年半が過ぎ、洲本川水系や育波川(淡路市)では災害復旧の河川改修が着々と進んでいます。今回は、その河川改修工事の一部を紹介します。

この度の改修は災害復旧の工事ですので、まず、何よりも地域の皆さんの安全で安心な暮らしを守るため、川幅を広げたり、川底を掘り下げたりして、川の水をスムーズに流す「治水」に力を入れています。しかし、川はさまざまな魚や昆虫、草花など、身近で貴重な自然とふれあえる場所でもあります。

そこで、県では、「治水」だけでなく「環境」にも配慮し、水辺の生き物も安心して住めるようなさまざまな工夫をしながら工事を行っています。

## ■育波川水系 育波川(淡路市)



▲改修前

▲改修後

育波川では、自然石を使った護岸を採用しました。石と石の間は、植生の回復や生き物の棲み家となります。また、魚が川をのぼるための魚道や、人が安全に水辺へ行くための階段護岸を設置します。

新しい育波川は、皆さんの暮らしと自然環境をしっかりと守ります。



**自然石の採用**  
○空間が植物の繁殖や生物の生活空間を創出します。  
○多くの人の目に触れる箇所では、景観形成の役割も担います。

**法尻部の護土**  
○法尻部の護土が水際に接する土質等の劣化を防ぎます。

MAP 5

## ■洲本川水系 奥畑川

洲本川の上流に位置する奥畑川では魚が川をのぼりやすいように配慮された落差工が完成しました。落差工とは、川の勾配を調整するために川の中に設ける段差のある構造物です。

しかし、改修前の川には大きな段差があって、魚が自由に川をのぼることができませんでした。

改修工事では、段差を緩やかなスロープ状にしたり、すきまのあるブロックで護岸をつくったりして、生き物のことも考えて工事を進めています。



▲改修前



▲魚がのぼりやすい河床へ

MAP 6

## ■洲本川水系 鮎屋川

鮎屋川は初夏になるとホタルが飛び交うなど、豊かな自然が残された川です。

工事に際しては、地域の人たちと一緒に、幼虫のえさになるカワナナという貝を保護したり、元の川底にあった石を工事後の川にもどしたり、少しでもホタルが棲める環境に近づけるよう努力しており今年もホタルが舞う姿をみる事ができました。

鮎屋川の流れが、ホタルのやさしい光で再びつまれるようみんなががんばっています。

洲本川の河川改修事業の進み具合については「洲本川改修だより」もご覧ください。  
<http://web.pref.hyogo.jp/awaji/sumotodo/saigaihukkou/>



▲ホタルのすみやすい護岸へ

MAP 7

## インフォメーション

この記事に関するご意見・ご感想をお待ちしています。住所・氏名・年齢をご記入の上、ハガキかメールでご応募ください。抽選で10名様に「はばタン」グッズをプレゼントします。応募締切：平成18年7月20日(当日消印有効)

宛先は、表面右上の問い合わせを見て下さい。



●市町合併により県道名を変更しました。(変更分のみ)

	旧	新
主要県道	南淡西淡線	阿万福良淡線
	津名五色三原線	大谷鮎原神代線
	北淡東浦線	富島久留麻線
	洲本南淡線	洲本灘賀集線
一般道	津名一宮線	志筑郡家線
	津名北淡線	生穂育波線
	洲本西淡線	洲本松帆線
	西淡三原線	松帆八木線
県道	室津津名線	室津志筑線
	尾崎津名線	尾崎志筑線
	鮎原一宮線	鮎原江井線
	上内膳津名線	上内膳塩尾線
道	阿那賀三原線	阿那賀市線
	灘三原線	灘市線

## 土砂崩れから通行車両を守る

— 県道洲本灘賀集線・県道福良江井岩屋線 —

県道76号洲本灘賀集線の由良～灘の区間と県道31号福良江井岩屋線の都志～室津の区間では、平成16年の台風23号の大雨で大規模な土砂崩れが発生しました。



▲土砂で埋もれた県道31号

土砂崩れによる通行車両や通行人の被害を防ぐために、土砂崩れの発生が予想される危険区間の始まりと終わりに、大雨の時に迅速な情報提供が行えるよう表示板を設置しました。この表示板には、雨量計が設置されていて、通行規制雨量を超えると「通行注意」や「通行止め」等の情報が自動的に表示されます。通行規制雨量は過去の大雨の雨量等を参考に決定し、毎年見直しを行っています。



新しく設置した規制表示板(県道31号淡路市明神)

通行規制の情報は、ホームページでも閲覧することができます。  
「パソコン用 <http://www.mother-road.info> : 兵庫県道路防災情報」  
「携帯電話用 <http://www.mother-road.info/i> : 兵庫県道路防災情報」

新たな表示板の設置区間は以下の7区間です。

- 76 県道76号洲本灘賀集線
  - ・洲本市由良生石～洲本市畑田組
  - ・洲本市畑田組～南あわじ市灘山本
  - ・南あわじ市灘土生～南あわじ市灘地野
- 31 県道31号福良江井岩屋線
  - ・洲本市五色町都志～淡路市明神
  - ・淡路市明神～淡路市江井
  - ・淡路市江井～淡路市郡家(多賀の浜)
  - ・淡路市尾崎～淡路市室津

## 淡路の土木・建築遺産を探ねて(第4回)

### ～ゆらようさい 由良要塞～



一昨年に整備された成ヶ島の展望台には、写真のような円形の穴があります。これは、明治22年から39年にかけて築城された由良要塞の一部、成山砲台跡です。明治に入ると、政府は東京と並んで日本の中核部である大阪を防衛するうえでの紀淡海峡の重要性を高く評価し、由良要塞の建設に着手しました。

設置された砲台は前述の成山砲台を含めて合計118門にのぼります。また、要塞に近かった由良小学校では、軍事機密を守るために、当時は図面の屋外写生は許されず、個人の家庭の写真でも要塞司令部の検閲を受けました。このことから、由良要塞が東京湾要塞に次いで重要視されたことが伺えます。その後、飛行機や航空母艦の発達で、要塞は過去の遺物となったため、由良要塞の重要性は薄れていきました。結局、由良要塞は一度も実戦を経験することなく、多くは撤去されて現在に至っています。

参考：ふるさとの思い出 写真集(明治大正昭和) 洲本

## ふるさとの風景

### 淡路鉄道から始まった(その4)

鉄道駅と主要路線を結ぶ県道は道路法の基準により停車場線として認定されています。淡路鉄道があった時代には「福良停車場線」「宇山停車場線」の2路線がありました。福良停車場線は駅と国道を結ぶ87mの短い路線でしたが、宇山停車場線は駅から国道と交差して洲本市中心部を結ぶ1,086mの路線で、今後、架け換えが予定されている銀橋には一日に1万5千台の自動車と千数百人の人が通っていました。これらの路線も昭和41年に鉄道が廃止になった後、昭和45年7月31日に廃止となり、現在はそれぞれ市道として市民の生活道路になっています。



当時の宇山駅全景。停車場線は写真中央の社屋付近を起点にしていた。鉄道跡は平成10年2月に道路として生まれ変わり、洲本市道加茂中央線となっている。(写真提供：淡路交通)



# つくる・まもる・そだてる 淡路さわやか県土

発行：平成18年9月1日

お問い合わせ：淡路県民局県土整備部  
津土木事務所企画調整担当へ  
〒659-0021 洲本市塩屋2丁目4-5  
TEL.0799-25-3225 FAX.0799-24-4513  
http://web.pref.hyogo.jp/awaji/sunomido/  
メールアドレス：awajikc@pref.hyogo.jp

**夏号**  
SUMMER  
VOL.5



**国体**  
**特集号**

## いよいよ開催!!!

9月30日～10月10日にのじぎく兵庫国体、10月14日～16日にのじぎく兵庫大会が開催されます。淡路島内でも正式競技3競技、公開競技1競技、デモンストレーションとしてのスポーツ行事7競技、兵庫大会の3競技が行われます。

県土整備部では、みなさんに気持ちよく会場へ訪れていただくために、道路の改良や沿道の緑化に努めています。

国体情報 ●のじぎく兵庫国体ホームページ <http://www.habatan2006.jp>  
●のじぎく兵庫大会ホームページ <http://www.shospo2006.jp>

《のじぎく兵庫国体》  
**サッカー少年男子**  
(正式競技)  
アスパ五色  
10月1日(日)・2日(月)

《のじぎく兵庫国体》  
**ゲートボール**  
(デモンストレーション)  
10月5日(木)・6日(金)

《のじぎく兵庫国体》  
**エアロビック**  
(デモンストレーション)  
10月7日(土)・8日(日)

《のじぎく兵庫国体》  
**ビーチバレー** (公開競技)  
慶野松原  
10月1日(日)～3日(火)

《のじぎく兵庫国体》  
**スポーツ芸術** (公開競技)  
滝川記念美術館玉青館  
9月12日(火)～10月13日(金)

《のじぎく兵庫国体》  
**少年少女スポーツ(相撲)**  
(デモンストレーション)  
綾列府中八幡相撲場  
10月1日(日)

《のじぎく兵庫国体》  
**相撲** (正式競技)  
文化体育館(元気の森ホール)  
10月1日(日)～4日(水)

《のじぎく兵庫国体》  
**ペタンク**  
(デモンストレーション)  
北淡中学校  
10月8日(日)

《のじぎく兵庫国体》  
**ハーフマラソン**  
(デモンストレーション)  
一宮中学校周辺  
10月1日(日)

《のじぎく兵庫国体》  
**トライアスロン**  
(デモンストレーション)  
国営明石海峡公園淡路地区  
淡路夢舞台・淡路交流の翼港  
10月1日(日)

《のじぎく兵庫国体》  
**サッカー少年男子**  
(正式競技)  
兵庫県立淡路佐野運動公園  
10月1日(日)・2日(月)

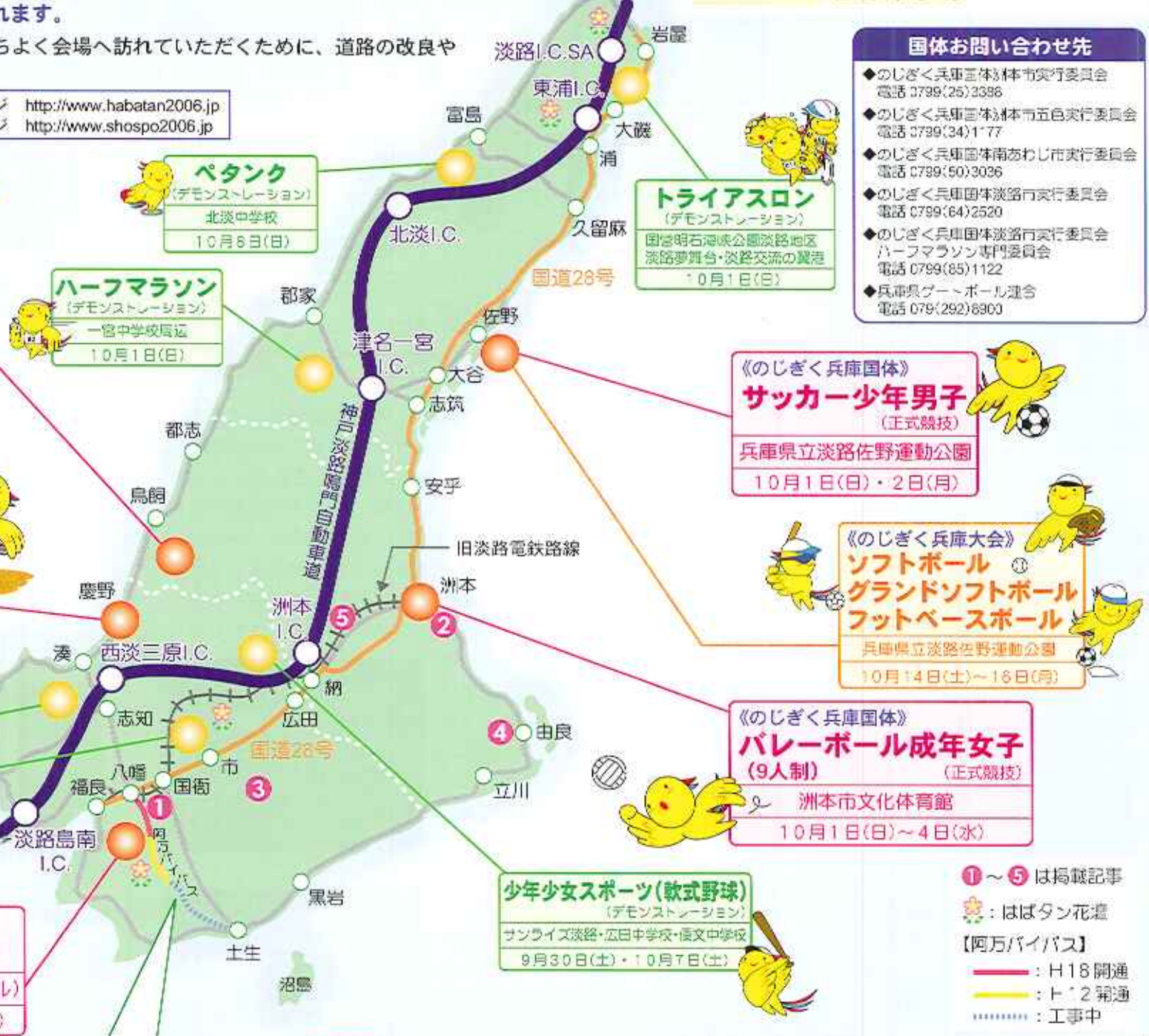
《のじぎく兵庫大会》  
**ソフトボール**  
**グラウンドソフトボール**  
**フットベースボール**  
兵庫県立淡路佐野運動公園  
10月14日(土)～16日(月)

《のじぎく兵庫国体》  
**パレーボール成年女子**  
(9人制) (正式競技)  
洲本市文化体育館  
10月1日(日)～4日(水)

《のじぎく兵庫国体》  
**少年少女スポーツ(軟式野球)**  
(デモンストレーション)  
サンライズ淡路・広田中学校・湊中学校  
9月30日(土)・10月7日(土)

**国体お問い合わせ先**

- のじぎく兵庫国体(本市)実行委員会  
電話 0799(25)3386
- のじぎく兵庫国体(本市)五色実行委員会  
電話 0799(34)1177
- のじぎく兵庫国体(南あわじ市)実行委員会  
電話 0799(50)3036
- のじぎく兵庫国体(淡路市)実行委員会  
電話 0799(64)2520
- のじぎく兵庫国体(淡路市)実行委員会  
ハーフマラソン専門委員会  
電話 0799(85)1122
- 兵庫県グーボール連合  
電話 079(292)6900



### MAP 1 (主) 洲本灘賀集線 阿万バイパス開通

主要地方道洲本灘賀集線は、南淡路の海岸沿いを周回する唯一の道路で、沿線住民の日常生活を支えるとともに、水仙郷等をめぐる観光道路として重要な役割を担っています。このうち、南あわじ市阿万～賀集間は人家が密集しており、道幅が狭く歩道も無いため、朝夕のラッシュ時や観光シーズン等は交通混雑が発生しているほか、交通事故も多発しています。阿万バイパスはこの問題を解消するとともに、周辺地域の振興、淡路島全域の発展のために造られている延長7.8kmのバイパスです。

9月5日に開通式を行う区間は、10月に開催される「のじぎく兵庫国体・相撲競技」が行われる南あわじ市文化体育館へ接続する国道28号八幡交差点から市道福良北阿万線までです。歩道には賀集小学校の5、6年生のみなさんに花を植えていただいたプランターを設置しています。国体会場へお越しの際は、ぜひ通ってみてください。



▲混雑する洲本灘賀集線 ▲開通した阿万バイパス

### MAP 2 50年前も淡路島で国体!!!

「のじぎく兵庫国体」は兵庫県内で3回目に開催される国体です。第1回国体が昭和21年に京阪神地方を中心に開催され、兵庫県では西宮球場で開会式が行われました。

兵庫県で2回目の国体となる第11回大会(昭和31年)では県内各地(図①)でさまざまな競技が行われました。当時、兵庫県は深刻な財政難のため、参加人数を減らし、施設の新設は終了後の利用を考慮して学校の体育館を中心としました。

この第11回大会では、ここ淡路島でも洲本市営三熊球場で軟式高校野球の熱戦が繰り広げられました。当時の会場案内図(図②)を見ると、洲本市内も大きく変わったことがわかります。

図① 第11回国体各会場交通図

図② 洲本市会場案内図

また、当時の国体参加の役員選手には映画館やクリーニング、特産品や土産物などいろいろな割引もあり、地元をあげて国体を盛り上げました。



# 「はばタン」誕生物語

この国体マスコットは、全国公募による約3,000件の作品の中から、2003年1月17日に、神戸市在住のイラストレーター金成俊さんの作品が選ばれたものです。金さんは当時、東神戸朝鮮初中級学校の教師をされていたが、震災で校舎も全壊し、教え子も一人亡くされました。「マスコットにはあの時もらった多くの支援への感謝と、復活の思いを込めた」と阪神・淡路大震災からの復興を象徴し、フェニックス（不死鳥）をイメージしたキャラクターを描かれました。

一方、名称である「はばタン」は、この作品にふさわしい愛称を！ということで、別途公募され、県内外からの約4,000件の中から、赤穂市の小学生である川端弓加里さんが考案した、元気に羽ばたくフェニックスの姿をシンプルに表した「はばタン」に決定しました。

「はばタン」の誕生経緯を踏まえて、あらためて「はばタン」を見ると、何か元気が出て来る感じがしませんか？

**性格**

チャレンジ精神旺盛でどんなところへも顔を出すよ！

**誕生日**


2003年1月17日

**運動神経**

国体の競技は何でもこなせるよ。いろんな競技に挑戦している姿を見たら応援してね！

**売れっ子度**

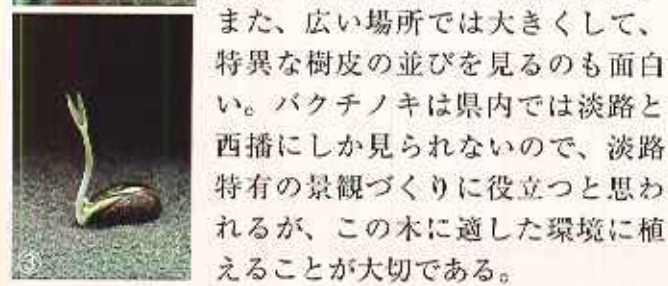
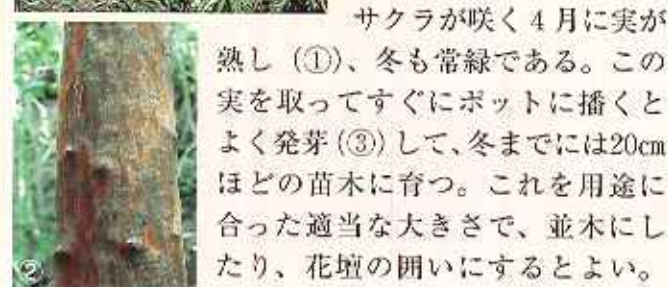
ぬいぐるみを中心にいろんなグッズが販売されてるよ！



金さんの応募作品

## サクラに近い暖地性常緑種 “バクチノキ”

この樹の皮は、大きくなるにつれて少しずつはげ落ち、その跡が紅黄色になる様子（写真②）が、博打に負けて着衣を脱いでいく姿に似ているというので、「博打の木」の名がついた。バクチノキは、バラ科サクラ属の高木である。



春には花が咲いて夏に実が熟し、秋には落葉するが、バクチノキは9月に花が咲いて、サクラが咲く4月に実が熟し①、冬も常緑である。この実を取ってすぐにポットに播くとよく発芽③して、冬までには20cmほどの苗木に育つ。これを用途に合った適当な大きさで、並木にしたり、花壇の囲いにするとうい。また、広い場所では大きくして、特異な樹皮の並びを見るのも面白い。バクチノキは県内では淡路と西播にしか見られないので、淡路特有の景観づくりに役立つと思われるが、この木に適した環境に植えることが大切である。

※文・写真とも洲本の植物研究家南光重毅氏が提供。

## はばタンプロフィール

## MAP 3 論鶴羽ダム ふれあいフェスタ

南あわじ市神代浦壁にある論鶴羽ダムで7月28日（金）、論鶴羽ダムふれあいフェスタが開催され、子供や保護者など274名が参加しました。このダムフェスタ、毎年この時期に洲本土木事務所と南あわじ市が主催しており、森林やダム、河川等の重要性に関して理解を深めてもらおうという企画で、小学生を対象として魚の種類などのクイズに答えながらダム湖を1周するウォークラリーや9つのポケットにボールを蹴り入れるキックターゲットを始めとする8種類のゲーム、うなぎのつかみ取りなどのイベントで盛り上がりしました。

イベントの閉会式にはお楽しみ抽選会が催され、豪華な花火セットやおかしを手を歓声を上げる子供の姿が印象的でした。



## MAP 4 淡路の土木・建築遺産を探ねて (第5回) ~ 由良要塞 ~



前号に引き続き、由良要塞の紹介です。「由良要塞」というと洲本市由良の要塞であるかのように誤解されやすいのですが、由良要塞は、①淡路島の由良地区、和歌山の友ヶ島地区、加太・深山地区と、後年に編入された②鳴門地区の合計4地区で構成されていました。今でも洲本市の生石展望台近くに、砲台が据え付けられていた円形の砲床や弾薬庫が残っています。終戦後、米軍の爆破命令により部分的に崩壊したままとなっているものの、地元の方（由良地区連合町内会長 名田徹美氏）の地道な清掃活動により、現在でも当時の姿をうかがい知ることができます。



## MAP 5 ふるさとの風景 淡路鉄道から始まった (その5)

今回は道路工事と埋蔵文化財についてのお話です。埋蔵文化財の存在が一般に知られている土地（周知の埋蔵文化財包蔵地）を工事する場合は文化財保護法により発掘調査を行う必要があります。淡路鉄道の線路敷も道路に作り替えられるに当たって、いくつかの発掘調査が行われました。その中で最大規模の調査が県道上内膳塩尾（旧上内膳津名）線の工事に先立って調査された「下内膳遺跡」の調査でした。

「下内膳遺跡」は昭和17年の加茂小学校移転工事を第1次に調査が開始され、その後第4次調査まで行われ、弥生時代前期から鎌倉にかけての遺品が数多く発掘されています。普段何気なく通っている道ですが、2千年の歴史が伝わってくるようです。



▲発掘調査を経て、先山駅周辺は平成五年八月に開通した



▲発掘当時の先山駅ホームと出土品  
（写真提供：兵庫県埋蔵文化財調査事業所）



# つくる・まもる・そだてる 淡路さわやか県土

発行：平成18年11月18日

お問い合わせ：淡路県民局県土整備部  
 対本土大事務所企画調整担当へ  
 〒656-0021 洲本市塩原2丁目4-5  
 TEL.0799-26-3226 FAX.0799-24-4513  
 http://web.pref.hyogo.lg.jp/awa/sumtccc/  
 メールアドレス：awaikc@pref.hyogo.lg.jp

**秋号**  
**AUTUMN**  
**VOL.6**

風土遺産5

## まつほみなといせき 松帆湊遺跡の発見!!

～幕末の大阪湾岸防衛基地～

MAP 1

2004年6月、開発工事の際に淡路市岩屋松帆にあるため池の水を抜いたところ、遺跡が発見されました。さっそく淡路市が調査したところ、この遺跡は松帆湊遺跡であることが分かりました。

松帆湊は、一辺約40mのひし形で、深さ約4mまで岩盤を掘り下げて造られた「堀り港」で、敵船を迎撃する船が発着するための基地として造られました。さらにこれを隠すためにM字型の土塁と、砲台、火薬庫、弾薬庫を隠すために目隠し土塁が配置されています。

文献によると、1853年の黒船の来航をきっかけとして、江戸幕府は大阪湾岸の防衛計画をまとめ、阿波藩（現在の徳島県と淡路島）に対し、大砲を設置した台場と敵艦を迎撃する小型船の配備を含めた海の防衛を指示しました。これを受け、1858年から1861年にかけて、明石海峡の守りを目的とした、岩屋浦松帆台場を中心とする岩屋台場群と小型船の基地として港を造ることとなりました。しか



写真：淡路市教育委員会提供

し明石海峡の潮流が早く、港口の決壊を繰り返したため、港は完成を待たずして工事が打ち切られたという記録が残っています。

敵襲からの迎撃用港灣を併せ持つ台場は全国唯一で、2006年7月28日に国指定史跡になりました。



### 淡路さわやか県民局

皆さん、こんにちは。私たち県土整備部では、より安全でより美しい淡路島を目指してさまざまな土木事業を行っています。今回は11月18日の土木の日（詳細は裏面に記載）にちなんで、私たちが取り組んでいる土木事業について特集コーナーを設けました。「淡路さわやか県土」では、毎回土木事業の解説記事や美しい淡路島の風土記事を掲載しています。小紙が皆さんの「土木」そして「風土」に対するご理解の一助になれば幸いです。



## ふし 附子の木・塩の木ともいう “ヌルデ”

“ヌルデ”は、全国の野山でよく見るウルシ科ウルシ属の落葉小高木である。同じ仲間のウルシやハゼとの違いは、5～7対の小葉がつく葉軸に狭い葉のような翼があることだが、これにかぶれる人はほとんどいない。

ヌルデの名は、この木に傷をつけると出る白い汁を、塗り物に使ったからという。また、この葉には附子という虫瘤がよくできるので、“フシノキ”とも言う。附子は

大正の末まで、既婚婦人のお歯黒に使われた。

ヌルデは雌雄異株で、9月頃に咲く花には雄花と雌花がある（写真①）。花のあと径4mmの円く平たい実が房になる。秋になると、葉は美しく紅葉し（②）、“ヌルデモミジ”といわれるが、間もなく散る。その頃、実は酸性リンゴ酸カルシウムの白い固まりをふき出す（③）、これが塩辛く食塩の代わりに使われたこともあるので、“塩の木”とも言われる。

※文・写真とも洲本の植物研究家南光重毅氏が提供。



## 土木体験イベント実施報告

MAP 2

～きて、みて、感じて！公園島淡路～  
 平成18年10月1日（日） 於兵庫県立佐野運動公園

10月1日（日）、県立佐野運動公園で土木事業への理解を深めていただくことを目的として「土木体験イベント～きて、みて、感じて！公園島淡路～」(主催：洲本土大事務所、共催：洲本土地改良事務所)を開催しました。

当日は小雨が降る中約300の方が来場し、ヘリコプターによる空からの土木施設見学会や各種アトラクションをお楽しみいただき、大いに盛り上がりました。また、事業紹介パネルを見ながら土木事業に関するクイズやアンケートに答えていただき、土木事業に関する理解を深めていただきました。

アンケートのご意見欄には、「とても楽しかった！また開催してほしい」、「土木事業に対する理解を深めることができた」などのご意見を多数いただきました。

<p><b>日体記念植樹会場</b></p> <p>スイセン早く大きくなるぞ！</p>	<p><b>土木事業PRコーナー</b></p> <p>土木事業のクイズは分かったかな！</p> <p>※パネルクイズやアンケートに答えて土木事業について学習するコーナー。全国正解者は景品をゲット！</p>	<p><b>淡路島の動植物紹介</b></p>	<p><b>はも鍋コーナー</b></p>
<p><b>アトラクション広場</b></p> <p><b>距離感コンテスト</b></p> <p>この幅で長さをはるんだぞ！</p> <p><b>キックターゲット</b></p> <p>この幅は理想だったのぞ！</p> <p>ヘリコプターに乗って空から橋の立や土木施設を学ぶ。</p> <p><b>ストライクナイン</b></p> <p>でっかいハンドル！</p> <p>※かわいいブルドーザーやパワーショベルに乗って記念撮影。</p>		<p><b>空からの土木施設見学会</b></p>	<p><b>土木機械展示コーナー</b></p>



# 11月18日は 土木の日

11月18日を漢字で書くと『十一』月『十八』日となり、これがそれぞれ『十』と『一』が『土』、『十』と『八』が『木』と書くことができることから、『土木の日』として皆さんに土木に対する知識と興味を深めてもらおうという試みがなされてきました。

現在、洲本土木事務所では皆さんの暮らしの安全性や利便性を高めるため、淡路島内で様々な工事を行っています。工事は大きく分類すると、道路工事、河川工事、砂防・急傾斜地工事（地すべりやがけ崩れを防止する工事）、港湾・海岸整備、公園整備などに分けられます。

地図には、この秋から冬にかけての主な工事箇所を示してありますが、小規模な工事まであわせると稼働中のものだけでも約230件の工事が行われています。みなさんも一度、足を止めて工事現場を眺めてみてください。



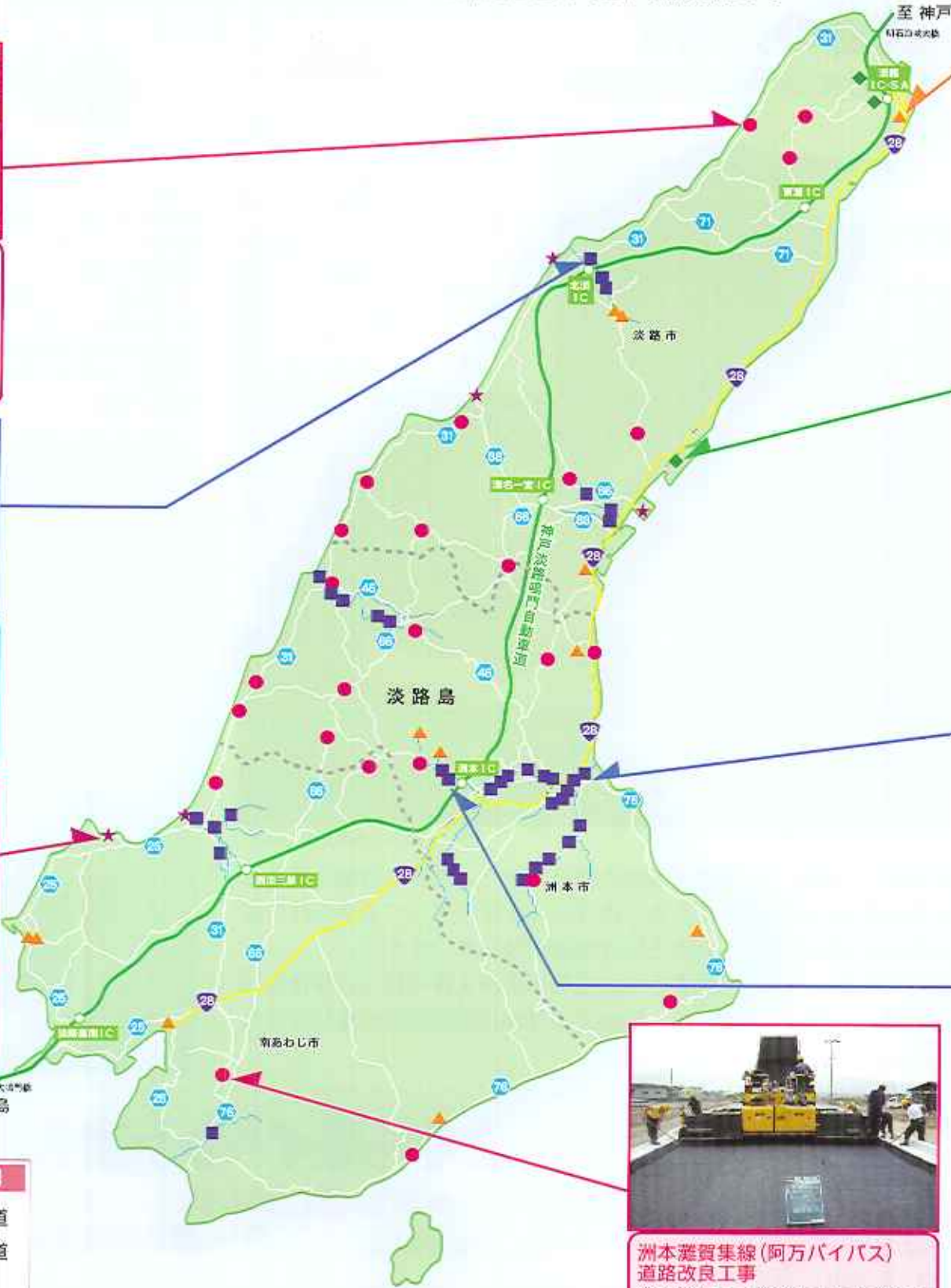
**防護柵設置工事(江崎～室津)**  
尾呂を海に囲まれ、海岸に直した道路が多い淡路島。老朽化したガードレールを透視正の高いガードパイプに更新し、淡路らしいなぎさ景観に調和した道路景観整備を進めています。



**育波川災害改良復旧工事**  
平成16年の台風23号により甚大な被害を受けた育波川を復旧する工事です。安全・安心はもとより自然環境や景観、また親水性に配慮した川づくりを行っています。



**西淡海岸護岸補修工事(湊登立)**  
台風による大波や津波から道路や住宅を守るため、傷んだ堤防を直しています。



**急傾斜地崩壊対策工事(鷗崎地区)**  
斜面にコンクリートを突き付け、鉄筋を差し込む工事です。斜面の崩壊から住民の生命を守るとともに災害時の避難場所である岩屋中学校を保全します。



**県立佐野運動公園 園路整備工事**  
すでに完成している野球場、サッカーコート等の運動施設の周辺に休憩所、ベンチなどを整備し、樹木で木陰をつくり、より快適に楽しめる公園を目指しています。



**洲本橋架け替え工事(洲本市塩屋)**  
河川改修事業にあわせて、洲本橋を新しく架け替える工事です。洪水時にも安全な橋になるとともに歩道が通りやすくなります。



**奥畑川改修工事(洲本市上内膳)**  
平成16年の台風23号により甚大な被害を受けた奥畑川では、地域の安全を守るため災害に強い河川づくりを進めています。



**洲本養賢集線(阿万バイパス)道路改良工事**  
道幅が狭く、歩道がないため交通混雑が多く発生している道路をバイパスにする工事です。2車線+両側歩道にすることで、安全かつスムーズに運ぶことが出来ます。

## 淡路の土木・建築遺産を探ねて(第6回)

MAP 3

### ～松帆の浦台場跡～



おもて面の「歴史遺産」シリーズで、「松帆湊遺跡」について取り上げましたので、その近くに現存する「松帆の浦台場跡」をご紹介します。ちなみに「台場」というと東京の「お台場」が有名ですが、「大砲を据えた場所」のことです。1863年に阿波藩蜂須賀領主は、明石海峡を通る外国艦隊を迎撃するための一大砲臺（大砲を備え付けたとりで）を築きました。砲臺は明石天文台の方向に向いて、M字型に築かれており、地図からの計測では約140mになります。基礎部分は高さ約2mの切石を積んでつくった石塁（石のとりで）、上部はその石の上に勾配約50度の急傾斜で粘土を盛って造った土塁（土のとりで）となっており、石塁の高さ9m、土塁の最上部の幅は4m（土塁の高さは不明）となっていることから、大変大きな構造物であることがわかります。写真はこのM字型土塁の左翼部にある火薬所の跡です。現在、この辺りは民間企業の保養所の敷地になっています。

参考資料：松帆台場跡案内板

## ふるさとの風景

MAP 4

### 淡路鉄道から始まった(その6)

お話は洲本市とお別れして隣の南あわじ市に入ります。洲本市では廃線敷を全て都市計画道路などにつくり変えています。南あわじ市ではその利用形態は様々です。

旧緑町内の洲本市境から広田駅を過ぎた辺りまでの延長約2.4kmの土地については昭和45年までに全て町が買い上げ、そのうち広田駅前後の延長約1.5kmの土地については当時不足していた公営住宅の建設に当てられました。また一部の土地は住民に売却されて住宅地や農道になっています。

集落内を歩くと、石積の橋台が宅地の進入路などに利用されていたり、路床の形状が現存するなど当時の風景を色濃く残す場所となっています。



▲現役の橋台